

「平成 30 年度 SJAC 革新航空機技術開発センター 最新の技術動向調査研究」に係る公募について

概要

事業名：平成 30 年度革新航空機技術開発センター最新の技術動向調査研究

対象者：SJAC 正会員企業、あるいは、日本国内の法人（大学または公的研究機関に限る）

公募期間：平成 30 年 7 月 30 日～平成 30 年 8 月 20 日

問合せ先：SJAC 技術部

担当者：佐々木義治 e-mail：yoshiharu.sasaki@sjac.or.jp

詳細

1. 事業内容

一般社団法人日本航空宇宙工業会（以下、SJAC という）革新航空機技術開発センター（以下、革新センターという）は、将来出現が予想される高性能の革新的航空機を開発するために必要とされる推進装置、軽量構造及び制御システム等に関わる技術について、調査及び実用化研究開発等を計画的に推進し、我が国航空機技術の飛躍的向上を図り、もって我が国航空機工業発展の基盤をつくることを目的としています。この目的に沿う、以下に記す調査項目指定型技術調査あるいは調査項目提案型技術調査のいずれかの調査項目に関して最新の技術動向調査研究を行い、その成果については、革新センター報告会、SJAC 講演会、SJAC 会報への掲示を通じて広く会員企業内への共有を図ります。

（1）調査項目

（ア）調査項目指定型技術調査

以下のいずれかの項目に係る技術動向調査

	調査項目
1	全固体電池、燃料電池、有機ラジカル電池の航空機への適用可能性
2	AI-飛行試験による機械学習データベースの構築を安全に実施する手法(精密モデル構築も含めた大量の墜落データ、飛行運動データの安全で効率的な収集と学習、体系化) 及びソフトウェアの安全生成管理技術
3	SHM (Structural Health Monitoring)

（イ）調査項目提案型技術調査

調査項目提案型技術調査では、上記（ア）項のように調査項目は SJAC から指定せず、前述の革新センターの目的に資する具体的な調査項目を応募者が提案し、その調査項目に対して技術動向の調査を実施します。提案に際しては、下表内の“調査対象の技術”に記載のいずれかに係るものとします。

	調査対象の技術
1	安全性に寄与するヘルスマonitoring技術、あるいは電力源（電池）技術
2	製造者にとっての経済性に寄与する設計技術、あるいは製造コスト削減技術（製造技術における複合材のコスト削減技術など）
3	環境性能に寄与する燃料消費率の最適化を含めたダイナミックな最適解導出制御に係る技術
4	AI 関連技術で、安全性、経済性、あるいは環境性に寄与するもの

（2）事業期間


調査研究委託契約締結日～平成 31 年 3 月 31 日

2. 応募方法等


本ページ下の公募要領及び仕様書に基づき応募願います。

資料

公募要領について

※  上記より公募要領が開かない際はお手数ですが以下の URL を直接入力いただけますようお願いします。
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/info/news242-1.pdf>

仕様書について

※  上記より仕様書が開かない際はお手数ですが以下の URL を直接入力いただけますようお願いします。
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/info/news242-2.pdf>